

議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和6年10月30日（水）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和6年10月30日（水）午前11時0分
- 3 会議場所 委員会室
- 4 出席委員
 - 1 番 牛尾 直人君 6 番 光成 良充君 8 番 大口 浩志君
 - 9 番 治徳 義明君 11 番 金谷 文則君 13 番 福木 京子君
 - 15 番 下山 哲司君
 - 17 番 佐藤 武議長
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者

市 長	友實 武則君	教 育 長	坪井 秀樹君
総合政策部長	倉本 貴博君	総 務 部 長	戸川 邦彦君
教 育 次 長	入矢五和夫君	総 務 課 長	花谷 晋一君
- 7 事務局職員出席者

議会事務局長	原田 光治君	主 幹	青木 智彦君
--------	--------	-----	--------
- 8 協議事項
 - 1) 令和6年11月行事予定について
 - 2) 令和6年12月定例会の会期日程（案）について
 - 3) その他

午前10時0分 開会

○委員長（下山哲司君） ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

初めに、議長より挨拶をお願いいたします。

佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 皆さん、お疲れでございます。

本日の議会運営委員会の協議事項としましては、11月の行事予定並びに12月定例会の会期日程案等について、それからその他の協議事項として数点ございますので、よろしく御協議をお願いしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、令和6年11月行事予定について、議会事務局及び執行部から説明をお願いいたします。

原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） それでは、令和6年11月議会行事予定（案）を御覧ください。

1日金曜日10時から行政視察受入れ、愛知県碧南市議会から議会基本条例についての視察があります。

2日土曜日9時30分から瀬戸内市誕生20周年記念式典があります。

5日火曜日9時から建設業協会訪問があります。

6日水曜日13時から全国市議会議長会理事会・評議員会合同会議があります。また、この日から7日木曜日まで産業建設常任委員会行政視察です。

11日月曜日から12日火曜日まで厚生文教常任委員会行政視察です。

13日水曜日10時から行政視察受入れ、愛知県西尾市議会からハートフル太陽についての視察があります。

14日木曜日10時から産業建設常任委員会です。

15日金曜日10時から厚生文教常任委員会です。

18日月曜日10時から総務常任委員会です。

19日火曜日11時から保護司会懇談会があります。また、13時30分から議会運営委員会、14時30分から議会全員協議会です。

21日木曜日13時30分から行政視察受入れ、岐阜県各務原市議会からICTについての視察があります。

24日日曜日10時から高陽地域老人大学発表会があります。

25日月曜日9時30分から赤磐市議会議員研修会です。

30日土曜日13時30分及び19時から赤磐市議会報告会です。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 倉本総合政策部長。

○総合政策部長（倉本貴博君） 執行部の11月の主な行事予定について御説明をいたします。

市行事予定（案）を御覧ください。

5日火曜日、エコプラザあかいわにおいて、鳥獣被害防止対策協議会を開催します。市長が出席いたします。

10日日曜日、同じくエコプラザあかいわ及び消防本部において、あかいわe c o・いいものまるしえ×消防フェス！を開催いたします。市長が出席いたします。

17日日曜日、高陽中学校において、赤磐市総合防災訓練を行います。市長と教育長の出席です。

18日月曜日、岡山市内で岡山県農業共済組合理事会が開催されます。市長が出席いたします。

20日水曜日、本庁舎において、定例記者懇談会を開催いたします。市長が出席いたします。

22日金曜日、加賀市内で地域連携研究所大会が開催されます。市長が出席いたします。

26日火曜日、岡山市内で県と市長会との意見交換会が開催されます。市長が出席いたします。

28日木曜日、岡山市内で全日本女子ホッケー選手権大会の開会式が開催されます。市長と教育長の出席でございます。

11月の主な行事予定は以上でございます。

○委員長（下山哲司君） 説明が終わりました。

ただいまの説明について質疑はありませんか。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 打合せのときに申し上げるのを忘れておりまして申し訳ないんですが、11月25日の9時半から市議会議員研修会を予定しておりますけれども、このテーマが防災・減災等についてという講演をお願いしようと思っておりますので、つきましては職員の方にも、平常業務、御都合がつく職員の方には御参加をしていただきたいということで一応御案内をさせていただこうと思っておりますので、その点について御了解をいただければと思います。

○委員長（下山哲司君） ただいまの議長のお話に御意見ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、そのようにいたしてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、議長、そのようにお願いいたします。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 一番最初の行政視察は、これは協議会室であるんですが、これは何を視察に来られるんですか。

○委員長（下山哲司君） 原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） 1日の視察につきましては、議会基本条例についての視察でございます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（下山哲司君） 続いて、協議事項2番目、令和6年12月定例会の会期日程（案）について、議会事務局より説明をお願いします。

原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） これにつきましては、先月に配付しました市議会スケジュール（案）のほうから変更点はございませんので、説明は割愛させていただきます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 説明が終わりました。

ただいまの説明について質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、続いて協議事項3番目、その他について、まず議会申し合わせ事項の改正について議会事務局より説明をお願いいたします。

原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） それでは、議会申し合わせ事項の改正ということで2点御協議をお願いいたします。

資料のほうは、タブレットに入っております、議会申し合わせ事項新旧対照表（案）を御覧ください。

まず1点目は、執行部の質疑の答弁場所についてでございます。

現在は議会申し合わせ事項により演台のほうで答弁しておりますが、議員のほうで自席で質疑を行っていることや、また時間短縮の観点から、自席で答弁することについての相談が執行部のほうから来ております。

それから、2点目としましては、議会事務局からのお願いになりますけども、討論通告の締切りを、現在は最終日の前日となっておりますが、最終日の前々日に変更できないかということでございます。これは、議長口述や採決区分一覧などを作成する時間を確保したいという理由でございます。

この２点について御協議をお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） 説明が終わりました。

ただいまの説明について御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、ただいま局長のほうからお話があったようにさせていただいてよろしいですか。

○議会事務局長（原田光治君） すみません、ちょっと補足させてください。

○委員長（下山哲司君） 原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） 自席での答弁につきまして２案ございまして、案１のほうで、初回のみは登壇して、再質問以降は自席で答弁する。案２としましては、全て自席で答弁するというものでございます。この２点についての御検討をいただきたいと思います。

○委員長（下山哲司君） 以前も部長が答弁せられるときには自席でしてやった時期があるんですが、改修とコロナになってからちょっと変わっておりますが、問題は、要するに最初からもう質疑については自席で答弁をいただいたほうが、書類を持って出たり入ったりするのにもあれなんで、そういうことでどんなでしょうか。皆さんの御意見をいただきたいと思います。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 私は、最初は登壇してやるべきだと。

○委員長（下山哲司君） 他にありませんか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 第２案で結構です。

○委員長（下山哲司君） 皆さん、御意見をいただいといたほうがいいと思うんで。

金谷委員。

○委員（金谷文則君） 私のほうはどちらでもいいんですが、今福木委員が言われたように、議会の格式ということも考えれば、初回は登壇をされて、その後はもう自席でされればいいのかなというふうに思います。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） スムーズに運営するという、冒頭議長のほうからお話もあるので、基本的にはどちらでもいいんですけども、自席でも構わないかなと思います。

○委員長（下山哲司君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 質問者が自席でするのであれば、答弁者も自席で結構なんかなと私は思います。

○委員長（下山哲司君） 牛尾委員。

○副委員長（牛尾直人君） 私も、もう自席で構わないと思います。

○委員長（下山哲司君） 福木委員、今皆さんの御意見をお聞きいただいたと思うんで、そういうことではどんなでしょうか。

○委員（福木京子君） 私は、最初はすべきだと。

○委員長（下山哲司君） いや、強要しとるわけじゃないんで、御理解いただければそのようにしたいというふうに優しくお聞きしよんで、御理解いただければ。よろしいですか。

○委員（福木京子君） 多数決だったらそうします。

○委員長（下山哲司君） それでは、自席でということが多いようなんで、そういうことでやらせていただくということで、議長、よろしいですか。

○議長（佐藤 武君） ありがとうございます。

時間短縮ということも含めまして、初回から自席での答弁ということで御協力をいただければと思いますので、よろしくお願いします。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 時間短縮ということをは心がけるというのはいつもやってまして、私も自席でやるので何の問題はないと思うんですが、答弁、それから質問についても、はっきり言って無駄な言い回しをして長く時間をかけてるほうが多いと思います。もうどなたも多分それは感じられとると思うんで。席を移動する時間よりも、無駄な答弁、無駄な質問、本来ではそういう質問なり発言をするべきでないようなことに時間を費やしてる。これについて、しっかり時間を削減する方向へ指導していただくなり、議会の中のコントロールを議長にお願いをしたいと思うし、皆さんも協力を、私自身もそう思いますけど、やりたいと思いますんで、執行部含めて、そのことは念押しをいただきたいと思います。

○委員長（下山哲司君） 議長、そういう御意見でございますので、議場は議長の采配でございますから、議長がしっかりその辺をコントロールしていただいて、議員、執行部のほうにてきばきなと指示をしていただくということでよろしいですか。

○委員（金谷文則君） はい、私はそう思います。

○委員長（下山哲司君） そうすることで、議長、それじゃあよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（佐藤 武君） はい。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

それでは、そういうことでよろしくお願いします。

○議会事務局長（原田光治君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） その他、2点目につきまして、クールビズについてです。資

料はございません。

期間が10月31日までとなっております。議会申し合わせ事項によりまして、11月からは、本会議及び委員会に出席するときは、男性は背広及びネクタイを着用とし、女性は男性に準じた服装とするということでお願いをしたいと思います。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ただいま局長から説明がありました。

御理解いただいて、そういうことでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、確認の意味で局長に説明いただきましたので、そういうことでよろしく願いいたします。

執行部から何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、執行部はここで退席していただきますが、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、執行部の方はここで退席をお願いいたします。御苦勞さまでした。

それでは、その他について、政務活動費の運用指針の見直しについて、議長から説明をお願いいたします。

佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 政務活動費の運用指針の見直しにつきましては、8月21日の議会運営委員会で、見直しを図るべきものとして2か所指摘を受けているということを説明いたしました。詳しくは、この後、事務局長から説明をさせますけども、改正案を作成しておりますので、そちらを確認しながら皆さんの御意見をお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） それでは、局長、説明をお願いいたします。

○議会事務局長（原田光治君） それでは、タブレット資料の政務活動費の運用指針の見直し（案）についてを御覧ください。

1 ページ目は、監査委員の指摘事項をまとめたもので、以前にも御説明しておりますが、見直しを図るべきものとして2点上げております。

まず、見直しを図るべきものとして、(1)新聞購読につきましては、1紙目の領収書がないと2紙目であるという確認ができないという指摘でございます。

ここで資料の2ページ目をお願いいたします。

上から4項目目の資料購入費の項目の注1のところに赤字で改正案を示しております。

読み上げますが、新聞購読は2紙目からとし、1紙目の領収書も併せて添付すること。また、1紙目は購読料が最も高額なものにする、ということで案を作成してございます。

それから、ページを戻っていただきまして、運用指針の見直しを図るべきものとして、(2)、こちらにつきましては、調査研究の内容を記載し、誰が見ても確認できるようにという指摘でございました。

ここで再び資料の2ページ目の項目としては一番上ですけども、研究研修費のところです。

すみません、資料の訂正がございまして、赤字で注の6となっていますが、これは注の5の誤りでございます。申し訳ございません。

こちらの研究研修費・調査旅費明細書を提出する場合は、訪問先の名称等をできるだけ具体的に記載すること。具体的にどう記載するかでございまして、記入例をおつくりしております。これが、その次の4ページに政務活動費研究研修費・調査旅費明細書というのがあります。これの一番上の行のように、細かい地番までとかフルネームというのが、個人情報の兼ね合いもありますので、せめて字と名字と、それと要件については明細を記入していただく必要がありますが、このぐらいいは書いて出していただきたいというふうに御提案させていただきたいと思います。

以上、この2点につきまして御協議をお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ただいま局長から説明がございました案件について御意見を伺いたいと思います。

以前からこのあれには議会内でも多少違和感の問題があったと思うんですが、そのままで現在に至っとんですが、これについて。私は全然、難しそうだったから使ったことがないので。

金谷委員。

○委員（金谷文則君） 当然のことなので、もっと詳しくやってもいいと思うし、それから申し訳ないけど、この書き込むとか必要な事項、例えば訪問先とかで、紙の用紙は少し広くなったり大きくなっていいと思うんですが、必要な事項ができたら書き込めるようなフォーマットにしといてもらえたら、どなたでも書けるのかなって思います。最初だけは手間かもしれませんが、そのスペースを取って項目を上げていって、そこにもう書けるようにすれば、白紙のところは抜けてるんで書かなきゃいけないと思ってくださるでしょうし、皆さんも見やすいし、同じようにチェックをしていくのもしやすいのじゃないかなと思うんで。あと、感想等は、個人の見解ですから、そのスペースを取って、スペースが空けれるような形でフォーマットをしといていただけたら幾らでも書き込めるのかなと思います。

それから、新聞なんかも当然のことで、きちっとすべきであると思います。

それから、もう一つ、最後の4ページ目でしたっけ。そのところについても、もう少し詳しく僕は書くべきだろうと思います。

ずっと見てて、もう本当、毎日出かけられて毎日何キロ何円と書いておられる方も今まで見

たことがありますけど、本当にでもそれが全部必要であったのかどうかというのは、どなたも判断のしようがないんで、本人が書くしかないとは思いますが、こんな狭いスペースじゃなくて、太陽光発電についてなんていうのは、誰でも何とでもなる話で、そんなことでは市民の方もそれは納得するわけがないんで、ここらは、さっきの報告書と同じように、もう少し詳しく、Aさん、Bさんでいいと思うんですけど、どこどこ行って、太陽光発電のことについて赤磐市で補助金があるのかどうかというようなことを協議したとかということも書いてもいいと思います。お金をいただくんですから、僕はもう少し、もっと詳しくすればいいと思います。一円でも公のお金を使わせていただく以上は、きちっとしていくべきだと思います。

以上です。

○委員長（下山哲司君）　これが以前も、赤磐市が始まって、この政務活動費を使うということになった時点で、会派とかグループで視察に行ったりとかするのにはもう全く問題がなかったと思うんですが、個人が平生活動しようられる分についての指摘だと思うんです。じゃから、その分について、もう少しこういう内容で書いてくださいというようなあれを示して、そういうふうな方向にしてもらったほうが過ちがなくていいんじゃないかと思うんですが、そういう方向で、もう一回最初に戻って見直しをさせていただくということでもよろしいですか。議長が先導していただいてやっていただくということで、よろしいですか。

○委員（金谷文則君）　委員長。

○委員長（下山哲司君）　金谷委員。

○委員（金谷文則君）　議長ばかりに負担をかけるのも、大変、議長もほかの仕事をしてるので。以前は、これをまとめるときには1つの会をつくっていったわけですから、どこか、根本的に見直すということをやるのが本来になると思うんですけど、この3月までしか私たちの任期がないので、今回は今ここで皆さんがちょっと合意できる形でやって、その次については、新しく出てこられた議員の中で、1年ありますので、しっかり検討して、十分なその政務活動費の報告ができるような制度を、これに加筆するところがあればするというようなことでいいのかなと思いますので、あまり議長に負担をかけないようにしていただけたらと思います。

○委員長（下山哲司君）　今金谷委員から言われたように、それでは今回は気をつけてやっていただいて、新しい議会になった時点でしっかり再度協議し直してやっていただくという申し送りでもよろしいですか。

○委員（金谷文則君）　これはやるんでしょ。

○委員長（下山哲司君）　この件は、じゃから今までにやっとなのを注意してやっていただくと。

○議会事務局長（原田光治君）　ここまではやっていただきたい。

○委員（金谷文則君）　委員長。

○委員長（下山哲司君）　金谷委員。

○委員（金谷文則君） 私の言い方が悪うございました。

今提案されてることについてはもちろんやるべきであって、すぐできることはすればいいけども、大幅に変えたい、それから検討しなきゃいけないようなことについては、来期の議員たちの中でしっかりやっていただけたらと思いますので、これはもちろん早急にやっていただきたいと思います。

○委員長（下山哲司君） 事務局が、ちょっと意見を言ってもらったほうがええんじゃないと思うんですが、改正をせえという形で今話が出とんですけど、その改正というのが、もう今やりよる分を正確にやるという考え方でしょ。

赤字の分は、今事務局が入れてくださるとるのは当たり前の話なんで、その方向でお願いしたいというふうに思います。

これについては、個々が違うから、使われる人もおるし使われん人もおられるし、じゃから今改めてどういうふうにとという形じゃなしに、今までやってきとんじゃから、それを、指摘された事項を踏まえて、今年度の提出をもらうということでもいいんじゃないですか。それについては。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今の赤字のやつはすぐにするとして、金谷委員の御指摘は、例えばこれが皆さん御承知いただいたときに、フォーマットを事務局のほうでもう少しええのをつくってくださいというだけのことなので、一緒にスタート、別に来年度とかということではなくて、すぐにスタートできるんじゃないですか。という理解をしとんですけど、違いますかね。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 必要な項目があったり抜けたり、それから人が、考え方でいろいろまちまちになって、見にくいところもあったりするわけだし、何を書いていいのか分からなくなったりする人も中にはおられるかもしれないんで、ここに書いてる必要事項でフォーマットしてちょっと入れる。例えば、訪問先はとかなんとかというて項目を入れといていただいたら、簡単にそこへ書き込めるんで、抜けもないし、監査の方もそれを見て同じようにチェックしていただけるんで、できたらフォーマットをそういった形で入れていただいたものをくだされば、みんな抜けがないと思うんで、ちょっとお手数かもしれないけど、できるところでしていただければ、今回ね。あと、細かいこの内容とかについては、新しい議会ができたときに、今委員長が言われたように、しっかり議論をして決めてもらったらいいのかなと。

だって、今度、どっちにしろまたチェックが入ってくるわけで、そのときにまた慌てて、時間を割いたり、いろいろしなきゃいけなかったり。A議員にまた聞く。B議員とは違う。そんなことはわしはと言われても、議員も大変だと思うんで、すみませんけど、そこはお願いでき

たらなということが、今大口委員も言われたとこなんで、よろしくお願いします。

○委員長（下山哲司君） 分かりました。

それでは、取りまとめさせていただきます。

新聞については、先ほど事務局から説明があったとおりに皆さんにやっていただくということで、議長、そういうことでお願いしたいと思いますが、よろしいですか、それで。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 確認です。

今、新聞も、これはこれでいいんですけども、デジタルがあります。その辺の現状の振り分けというんが、どういうふうになってるんでしょうか。

例えば、山陽新聞、ペーパーで取りました。デジタルの山陽新聞取りました。これはペケなんでしょうけども、デジタルを取りました、これは2通目なのか。その辺の現状の振り分けだけで結構なんですけど、どういうふうにお考えになられてるのか。

○委員長（下山哲司君） 以前からあるのは、同紙は1つしか駄目。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 山陽新聞については、値上げをしたときに、普通の一般紙を購読しとるところにはデジタルも今セットになっと思いますけど。1紙、2紙というて分けるんじゃない。この紙のやつとデジタルが今セットで料金になってますけど。

○委員長（下山哲司君） 事務局、今の話、分かりますか。私は分からないので、ちょっと説明をお願いします。

○議会事務局長（原田光治君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） 山陽新聞については、大口委員おっしゃったように、契約としては一本化されてるので、別々に考える必要はないと思うんです。山陽新聞1紙を取ってるということで、現状としては。紙で取っとればデジタルも読めるということなので。

ほかに考えられるのは、デジタルだけの契約、新聞がもしあったら、それはどうするかですけど、それはそれとして1紙というふうにカウントしていただいたらよろしいかと思うんですが。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） そこがちょっと分からなかったんですが。僕が確認したかったのは、1紙目、ペーパーを取りました。2紙目、デジタルを取りました。デジタルは新聞として2紙目と捉えられるのか。デジタル2つ取って、デジタル新聞、2つ目に政務活動費を使うから、デジタルの1枚目の領収書を出すのか、交差しても構わないのか、その辺だけちょっと確

認です。分かりにくいかもしれませんが、言い方が。

○委員長（下山哲司君） いやいや、じゃから、今大口委員が言われて、局長も言われたように、新聞とデジタルがセットじゃと言いよんじゃから、それが1つなんですよ。

じゃから、それは今言ようように、前からあるとおりに、今説明があった、一番高いものをあれにして、その後から2紙目にしてくださいっていう説明があったじゃないですか。

○委員（治徳義明君） 要は、ペーパーとデジタルも新聞というくくりで構わないんですかというその確認でした。

○委員長（下山哲司君） ほんなら、局長、もう一遍説明してあげてくださいます。そのほうがよう分かる。

原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） この御時世ですので、紙ベース、デジタルベース、情報はいろいろメディアがあると思うんですけども、同等に同じ新聞というくくりでよろしいかと思います。全て領収書をつけていただくふうに変えようとしてますので、1紙目から領収書を取っていただくということでございます。

○委員長（下山哲司君） 新聞については、もうこうしてくださいという内容でいいと思うんですが、よろしいですか、それで、新聞については。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それから、今の油代については、先ほど金谷委員が言われたように、細かく書けるような用紙にしてもらうということでもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、そういう方向で、第三者の方に見ていただいても納得いただけるようなあれを出していただくということでもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうことで事務局のほうもお願いします。議長もそういうことでお願いします。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） まず、研究研修費の注5の分で、その指摘を受けての4ページ目の記載要領ということになると思うんですが、そのことも金谷委員からもっと詳しく内容的には書いてもいいかなという御意見もいただきました。そうした中で、新聞の購読についても2紙目からということで、金額的にも高いものということで御理解をいただいたということで、この内容については、また全員協議会議で報告をして皆様の御了解をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうことでお願いいたします。

ほかに御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて定例会中の委員会中継の件で、議会事務局より説明をお願いいたします。

原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） その他の４点目としまして、定例会中の委員会中継についてです。

赤磐市議会会議中継に関する要領というのがございまして、それは今日のデータの中の一番後ろにつけております。

この第３条に基づきまして総務、厚生文教、産業建設の３常任委員会について実施しておりますが、要領ではそう書いてませんが、運用としまして、現在、付託案件がない場合は中継しておりません。これについて、ちょっと運用が曖昧というのがありますので、整理する必要があると考えております。

１つ目の整理の仕方としまして、定例会中の３常任委員会は、そのまま読み込みますと、付託案件の有無にかかわらず、要領どおりということで、全てを中継することにするかどうか。それから、２つ目としまして、中継する内容の範囲についてです。

現在は、付託案件の採決終了後、その他に入っても全て中継しておりますが、これを、付託案件がある場合のみ中継し、かつ付託案件の審査が終わった段階、つまり採決が終わった段階で中継を止めることにしてはどうかという御提案といたしますか、考え方を示させていただきたいと思います。これについて御協議をお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ただいま局長のほうから話がありました件について御意見をいただきたいと思います。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 市民は、開かれた議会をというのがもう一番だと思います。平生の委員会は中継もしていない。こんなばかなことは本当言えないんで、今ここの申し合わせ事項として、本会議のときしか中継をしないというのは、経費の面もあってだろうと思うんですが、議会が丸裸で、どんなことをやってるのか市民に見ていただく、これが必要なことだと思います。

前回、産業建設常任委員会の中で大きな問題、特に今注目をされてるコストコを誘致するというような問題が、今までになかったことが出てきて、それは付託されてる案件じゃないけど、それぞれの委員会で大変重要な問題として市民に知っていただかなければいけない。これはもう当然、その他であっても、しっかり放送できる、本会議中の委員会についてはやる。その後は、また新しい議会になってから、その中で、どういうふうにするか。それこそ、全ての

委員会も、常任委員会は放送するというようなことぐらいをやっていくべきであると私はもう強く感じておりますので。今は、その細かいことを、最後の12月議会、3月議会の2つだけに当てはめて考えるんじゃなくて、今のままでお願いをしたいと、解釈はそれぞれ解釈していくということをお願いしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） 他に御意見ございませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） その見直しが出たのは何で。今までずっとよかったのに、何でここへ出てきたのか。

○議長（佐藤 武君） 委員長

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 3常任委員会、放映してますけれども、まず、定例会中ですので、付託案件がないときの、過去に例があったんですが、付託案件がないから放送はしなかったケースがあります。そういうことで、付託案件がない場合も、定例会中の常任委員会を放映するという要領がありますので、食い違いがあるんじゃないかということで、確認をすると同時に、どういう取扱いで放映をするかということの協議をしていただくということがまず一番です。分かりにくいと思いますが。

いわゆる定例会で議案とか付託案件がありますよね。それ以外の事業の進捗についてという部分で委員会で協議をしていますけれども、議案が付託されない委員会が過去にありました。そのときにインターネット放映がされなかったということで、委員のほうから放映してもいいんじゃないかという意見があったんですが、この要領に従って、放映するという事になってるんですが、実際問題として、付託案件がない場合の委員会をどうするかという明確な取決めがなかったんで、ここで改めて協議をして確認をしていただければということです。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 進捗状況のことなんかも、ある程度市民に知ってもらいたいというあれもあるから、それは付託案件がなくても、これまでその他の分も放映しとったんだから、それはしてもいいんじゃないかなと私は思います。中継すべきじゃないかなと思います。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 一つ十分配慮していかなければならないのが、予算常任委員会というものを設置しましたので、どうしても事業進捗状況について予算に絡めて数字とかが出てくるケースもございますので、事前審査にならないような審査が必要になるということで、そこらあたりも配慮が必要かなということです。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 今議長が心配して言われたんですけど、それは委員会の中で事前審査にならないように当然配慮をして皆やっておりますので、それに対しての御心配は御無用かと思います。

○委員長（下山哲司君） 以前のこの議会運営委員会でも私はちょっと説明させていただいたんですが、各常任委員会、総務なら総務、予算がついてます、案件に。その案件を、決議をしないだけで、審査はきちっとしてくださいと。その代わり、予算常任委員会のときに担当委員会はちょっと御遠慮くださいという説明をさせていただいたと思うんですよ。そのようにやっていただいとると今私は思っとなるんで、その件については問題ないというふうに私は思うんです。

ただ、事業に対してはもう細かく審査していただくのが担当委員会なんで、それに予算がついとるのは当然なんで、ただ、そのときに採決をしない、予算常任委員会で採決をすると、こうなっとなんで、じゃからその件については今までどおりでスムーズにいったと思うんですが、ただそれを放映するかせんかということになれば、本来の姿であれば全部放映するのが今の開かれた議会というお題目の中では当然なんで、じゃからそれが問題があるような発言が出たというのは、またそれはおかしい話になるんで、皆さんに聞いていただいて、当たり前のことしか議会はやらんはずなんで、その心配は私は必要ないというふうに思うんですけど。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 当然、各常任委員長が適切な委員会運営をやっていると私も思っておりますけれども、あくまで、どういう協議内容が出てくるか分からないので念のために申し上げたということです。委員長が仕切っていただくということであればそれはそれで結構です。

○委員長（下山哲司君） 議案で出てきた分は、もうきっちり審査せにゃいけんで、したことに関しては市民の方に知っていただくというのはもう当たり前の話なんで。

前に問題になったのは、定例会でないときにも放映せえという御意見もあって、それは各議員が勝手なことを言うるのも放映してあげることになるから、それは駄目でしょうという話でやらんことになったと、私の記憶ではそうなっとなですよ。

ですから、今金谷委員が言われたように、付託されたことについては全放映するのが当たり前だというふうに私も思いますので、そのなかった案件のときについてどうするかという話だけここで確認しといていただけたらいいと思うんで、その件について御意見があれば。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） そこを制約する必要もなく、放送できるということではいいと思うんです。それで、今中継したときに、今回付託案件がないので、その付託案件についての議論はございませんと、しかしあとの進捗状況についてということをちゃんと前触れしてやりさえすれば、みんなに知ってもらう必要があるんで、常任委員会しかやらないということになってるんで、ぜひいろんなことの議論をして、本当に議員も軽々な発言をしてると市民がしっかり見る。それは見てもらわなきゃいけないと思うんですよ。よく勉強してるかしてないかということも当然議会を評価する一つの指標だと思うので。居眠りしてる議員もおるかもしれんし、ああ、いるなっていうのも必要なことだと思うんで。でも、執行部のほうも居眠りしてるやつがおるというのもしっかり見てもらわなきゃいけない。もう全てのものをオープンでいいと思うんです。

だから、今回いろんな、多分私の想像の話からすると、この間産業建設常任委員会でやった中継で来られたときもありましたけども、執行部のほうが多分議長のほうへ申入れがあったか何かがあって、議長も一生懸命ガードをするということであって、ここへ提案されとんかもしれないけども……。

○議長（佐藤 武君） ガードしてないですよ。

○委員（金谷文則君） 市民に全てのことを、議会活動、議員活動を見ていただくという観点からすると、ぜひ全てのものをオープンでお願いしたい。私たちも勉強して恥ずかしくないことをやるべきと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 金谷委員からガード云々の話が出ましたが、そういう話は一切ございませんので、念のために申し上げますけれども。

さっき私が申し上げましたように、ここで申し上げてもいいんですが、委員、委員長のほうから一部意見があったのを受けて、それで皆さんに改めて協議をお願いした次第ですので、発言については注意をしていただきたいと。

○委員長（下山哲司君） それでは、その件についてはここで明確にしたいと思います。

今お話を聞けば、私も、開かれた議会ということであれば、定例会中はするということになっておりますので、先ほど金谷委員が言われたように、きちっと前置きをつけて、委員長がやっていただいて、付託案件がない場合も委員会は全部放映するというところでよろしいですか、皆さん。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） そういうことでよろしく願いいたします。

次に、中継モニターの件について、1階に入ったら左手のところで前に設置していただいて見ていただきよったんですが、私も気にして、どのぐらいの人が見よんかなと思うたら、最高が

3人で、2人か1人かぐらいのペースなんで、ここの下で、ああいう1区切のスペースが今ないんですね、改修してから。その件について御意見いただきたいと思います。

金谷委員。

○委員（金谷文則君） そんなスペースをつくらないというのは言語道断の話であって、市民が情報を得る手段としては絶対必要なので、一番入って見やすいところ、スペースを確保するのは当たり前であるので、何か議論すること自体がおかしいような気がするんですが。

○議会事務局長（原田光治君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 原田局長。説明願えますか。

○議会事務局長（原田光治君） 今回の経緯ですけれども、現在本庁1階市民コーナーに設置しておりますけれども、以前は執務室と離れたところにモニターはあったんですけれども、改修後は、今置くとしたら正面玄関入って右側の市民コーナーのどこかに置くようにしとんですが、執務室が近くにくらし安全課ができたりですとか、あと市民課の関係が、大きなモニターを設置して番号で呼出ししたり、順番ですね。住民票交付の関係で、そういう音声アナウンスも流れたりする関係で、ちょっとそのこととバッティングが発生しておりまして、中継を見に来た方が、ボリュームが小さくて聞こえないということでボリュームを上げると、ほかの業務との兼ね合いというか、支障が出たりしています。事務局としては、どうしても1階でなくてもいいんだったら、3階の会議室に場所を確保して、聞きやすい環境で、そういうところもあるかなと。

○委員長（下山哲司君） 今金谷委員が言われたのは、そういうんじゃないしに、きちっとしたところへ。

金谷委員、もう一回お願いします。

○委員（金谷文則君） 今の原田局長のおっしゃられることは、もう何か言語道断の話で、議会を全く無視した、軽視した、じゃあこの事務所のリニューアルだったのかという話で、そんなことを考えないで、ファーストフロアのデコレーションをしたのか。こんなばかな話、もうそれはやり替えてもらってくださいよ。そんなもん、話の議論にもなりませんで。

○委員長（下山哲司君） 今日ここでは、もうやるかやらんかというのも、やってもらわにゃいけないという御意見のほうが強いと思うんで、そういうことに関して、執行部のほうと、パーティションするなりして、一番遠いとこの区画へ1区画、最低五、六人座れるぐらいの椅子を置いてモニターを置いとくというぐらいのことは、今の御意見をお聞きすりゃあ、それは当然だと私も思いますもので、ちょっとその辺協議していただいて、早急にまた回答いただくようお願いしたいと。

そういうことでよろしいですか、今日のところは。

○委員（金谷文則君） 今できることをしていただいて。

○委員長（下山哲司君） 今日のところは。

それじゃあ、そういうことでちょっと協議のほうを。

議長、そういうことでよろしいですね。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） この件につきましては、いわゆる1階の市民ホールの部分での設置ということで、議会放映を置くことも市民サービス、それから市民コーナーの受付も市民サービスで、どちらも低下させるわけにはいかないということの中で、高齢者が聞かれるということとどうしても音が大きくなるということで、お互いにちょっと食い違いがあるということで、執行部に対して議会運営委員会での意見を申し上げて、いい方向に向けて対応をお願いしたいと思いますので、そういうことで申し入れます。

○委員長（下山哲司君） それでは、議長、そういう方向でお願いしたいと思います。

この件はよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうことでお願いいたします。

ほかに御意見がありますか。

○委員（光成良充君） 戻ってもいいですか。

○委員長（下山哲司君） 戻っても結構ですよ、その他ですから。

光成委員。

○委員（光成良充君） 今言われた議会中継に関する要領のところ、以前、委員会は全て中継すべきという意見があって、今されてないんですけど、今回予算は常任委員会化してるんです。それは中継ができないのかという確認と、それから全ての委員会、本会議中以外の委員会も放映ができるようになると、費用的なものは、それは増えてくるのか、どれくらい増えるかっていうのを事務局のほうは分かっているのかお聞きしたいんですが。

○委員長（下山哲司君） 局長、答弁できますか。

原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） 現状を言いますと、協議会室のほうにカメラ等はありませんので、あと配線関係ですね。本会場の裏に一連のシステムがあるんですけど、そちらにも配線関係とかが必要になったりとか、そういったことでの対応、幾ら費用がかかるかまでははじけてないんですけども、現状でしたら、中継はすぐには実現は難しいかなと考えております。

あとは、リアルタイムで中継できないんですけど、録画配信という形だったら、いわゆる普通のビデオカメラですね。熊山支所のときにやってたと思うんですけど、前後にカメラを置いて、それを録画して、録画したものを後日ネット上で見れるようにするっていうのは可能かなと、そこまでは可能と思っております。

以上です。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 予算要求すべきじゃないんですか、新年度。だって、市民にぜひいろんなことを見てもらいたいとすれば、予算の準備はしとられるんでしょ、当然。ないものはせにやいかんわけじゃから。

予算要求するようにしようよ、みんなで。

○委員長（下山哲司君） これは、予算も常任委員会になったんで、それがなる前からの今の放映の内容なんで。じゃから、予算委員会が常任になった時点で、それも3委員会から4委員会という形であるのが当然だと思うんで、その辺はちょっと御意見を聞いといて準備をさせてもらいたいと思いますが、どんなでしょうか。

○委員（大口浩志君） さっきの光成委員の1個目の質問は答えられたけど、2個目は答えられとらんのじゃろう。

要するに、予算常任委員会を中継したら経費が上がるんかという質問だったんですけど、それに対する答えはなかった。

○議会事務局長（原田光治君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） その撮ったものの加工等で経費がかかってくると思いますんで、もし閉会中も中継することになったら……。

○委員長（下山哲司君） いや、例え話で、今3委員会のをしようるんで、1委員会にどのくらいかかるか、例えの話はできるかと。分かりませんか。

○議会事務局長（原田光治君） ちょっと、金額はすぐには。

○委員長（下山哲司君） 分からん。

それじゃあ、今日のところは、4常任委員会ということでやるということで進めたほうが、皆さんよろしいんでしょう、今の御意見だったら。

○議会事務局長（原田光治君） ちょっとすみません。要領のほうが、今3常任委員会しかないということで、今していますので……。

○委員長（下山哲司君） じゃから、それも、申し合わせ事項を変えにやいけんので、12月に間に合うようにできるもんならやると。あと2回ですから、この議会の常任委員会はね。じゃから、それに合わせてやるか新しくするか。じゃから、予算がどのくらいかかって、どういう手間がかかってというのを調査して、ここで示してからでなかったら駄目なんで、じゃからそれについて準備を今日のところはしましようかという話を今相談、委員長としたらかけるんで、じゃから皆さんの意見を聞いてですよ。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 放送というか、それをするためには、今局長が言われたように、やり

方として、今の協議会室には設備がないので、すぐにそれをオンエア、リアルタイムですることとはできないというのがもうこれはあるので、これはまずできないわけですよ、すぐやろうと思ったら。だけど、やる方法としては、熊山みたいに、両方にカメラを置いて、それを録画したものを放映することができますよということの話なので、今は、やるとしたらそれしかないんだろうと思うんです。そうした場合の費用が、じゃあどういふふうにかかるのかということを検討していただかないと、新しく協議会室へ設備をつけるとしたら、これから見積りを取ったり、いろんなことを言うたら、とてもじゃないがすぐにはできないことだろうと思うんですが、がですよ。ここは議会運営委員会ですけど、議会全員協議会なんかで協議して、全部の委員会を中継すべきだとか、いろんなことで中継すべきだということになれば、協議会室へもそういう設備が必要になる。そうすると、見積りを取って、来年度の予算に要求すべきじゃないかという話に次になると思うんです。だから、今度全員協議会があるときに、ここで議会運営委員会の中で、今回はこういう話になったけど、次に向けてはこういうことがあるよということをもみんなで合意ができれば、議長のほうからみんなの議員のほうに聞いていただいて、それでいいとなったら、今度は事務局のほう、予算取りの関係をしてほしいというのを要望を上げていただくような手順でお願いできたらと思うんですが。

○委員長（下山哲司君） 今金谷委員のほうから御意見がございましたが、やるとすれば、見積りをするのは、設置するのも見積りをすりゃあええし、皆、見積りをつくること自体に問題はないでしょ。

じゃから、この議会運営委員会とすれば、そういうものをつくっというて、皆さんに議長が全員協議会でこうこうなんだという話を、何もなしで空手で話をするのも不細工な話やと思うんで、そのくらい見積りを取ったりするのはそんなにお金はかからんでしょ。

○議会事務局長（原田光治君） それ自体はそうです。

○委員長（下山哲司君） だったら、そういう準備もして、できるようなら、この議会で申し合わせ事項を変更するとかというのも関わってくるんで、取りあえず準備をしてみると、こういうところでよろしいでしょう、今日のところは。

○議会事務局長（原田光治君） すみません。ちょっと事務的な流れになりますけど、来年度は議会も早くて、来年度ですね、3月議会は。

○委員長（下山哲司君） 12月と2月じゃから、今度は。

○議会事務局長（原田光治君） 骨格予算ということで、もう令和7年度当初予算は一応一旦は締まった形になっておりますんで、来年度で何かしようと思ったら、ちょっと補正対応とか、いろんなことを考えにやいけんと思います。

○委員長（下山哲司君） じゃから、熊山でやったように、そんなにかからんようだったらやればええし、できるんなら。

だから、大金になるんじゃないたら、新しく申請、予算を取ってもらうようにして準備をする

とか、その検討をするということが大事なんで、じゃから今の御意見を聞きよる範囲でいえば、検討して、こういうことで一遍議長が全員協議会で相談をすると。何にもなしでしたんじゃ話にもならんでしょ。じゃから、見積りぐらいいは取っていいんじゃないですか。

金谷委員、どうですか。

○委員（金谷文則君） どうぞどうぞ、してください。

○委員長（下山哲司君） そういうことで。

○議会事務局長（原田光治君） 分かりました。結構です。

○委員長（下山哲司君） 今日のところはそういうところでよろしいですか、この件については。

○委員（金谷文則君） だから、皆さんが中継をするんでオーケーというのを確認だけ取っていただいて、それでお願いしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） それじゃ、今、順番に大口君のほうから、中継について。

○委員（金谷文則君） もう手を挙げたらええが、ええかというて。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 常任というて今委員長が言われて、名前がついたんだったら、ここへ足しとけばもう諮る話じゃないんじゃないですか。

○委員長（下山哲司君） いやいや、じゃから意見を聞いとかなんだら。

○委員（大口浩志君） いや、だから、諮る話ではないと思いますというのが意見です。

○委員長（下山哲司君） 賛成ということですね。

金谷委員もよろしいですね。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（下山哲司君） 福木委員もよろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（下山哲司君） 牛尾副委員長もよろしいか。

○副委員長（牛尾直人君） はい。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員も。

○委員（治徳義明君） はい。

○委員長（下山哲司君） 光成委員も。

○委員（光成良充君） はい。

○委員長（下山哲司君） それじゃあ、そういうことでちょっと準備を。

議長、よろしいですか、そういうことで。

○議長（佐藤 武君） はい。

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうことでよろしゅうお願いします。

ほかに何かありませんか。

なければ終わりたいと思いますが、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、以上をもちまして議会運営委員会を閉会したいと思います。

お疲れさまでした。

午前11時0分 閉会